

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

| | | | | |
|------------|------------|------------------------------------|--------------|----|
| 申請図書番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
| 104-75 | 高等学校 | 外国語 | 英語コミュニケーションⅢ | |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 212 桐原 | CⅢ720 | Heartening English Communication Ⅲ | | |

1. 編修の基本方針

題材は、生徒の発達段階を考慮に入れつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。アイデンティティの確立や心身の発達などにまつわる身近な話題を交えつつ、今日のグローバルな社会課題である「持続可能な開発目標(SDGs)」を重点的に扱う。

1つのテーマに対してリスニングとリーディングの題材を並列的に掲載しており、それらの内容を統合することで複数の視点や多様な意見への気づきが得られるようにした。またリーディング素材の多くは、海外メディアがウェブサイトなどに公開している記事をベースとしており、現実世界における事例をもとに「多様性」「幸福」「倫理」といった抽象的な概念なども学べるよう配慮した。

さらに、これら題材の内容と直結する形でスピーキングとライティングのテーマを設定し、誌面には論理的な話し方や書き方の例を豊富に掲載した。本書が重視する「自分を表現することば」「未来を共に創ることば」の習得を促すことで、教育基本法第2条に示される教育目標の達成に寄与したい。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|--|---|----------|
| Reading & Writing Strategy 1-9 | 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを念頭に置き、文章を論理的に読んだり書いたりするための方略を学べるようにした。(第1号) | pp.8-20 |
| Lesson 1 What Makes Up Your Identity? | 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを念頭に置き、アイデンティティを形成する要素について理解し、自らのアイデンティティについて表現するための言語活動を配した。(第2号) | pp.21-30 |
| Lesson 2 Predicting Future Technology SDGs | 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを念頭に置き、科学技術の未来予測に関する話題を理解し、最も重要だと思う科学技術について表現するための言語活動を配した。(第3号) | pp.31-41 |
| Lesson 3 The Science of Sleep | 豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを念頭に置き、睡眠の重要性について理解し、睡眠不足によって起こる問題とその解決策について表現するための言語活動を配した。(第1号) | pp.47-56 |
| Lesson 4 Diversity and Inclusion SDGs | 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを念頭に置き、多様性を促進するための事例について理解し、多様性を実現するために最も重要だと思う要素について表現するための言語活動を配した。(第5号) | pp.57-67 |

| | | |
|--|--|--|
| Lesson 5 Protein Crisis SDGs | 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを念頭に置き、タンパク質の供給不足の問題とその解決策について理解し、将来のタンパク源として最適だと思うものについて表現するための言語活動を配した。(第4号) | pp.73-82 |
| Lesson 6 Different Types of Happiness SDGs | 職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを念頭に置き、ワークライフバランスなど多様な観点から幸福の価値観について理解し、自らの幸せにとって大切なものについて表現するための言語活動を配した。(第2号) | pp.83-93 |
| Lesson 7 Pros and Cons of Utilizing AI SDGs | 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを念頭に置き、AIを活用することの是非について理解し、社会生活においてどの程度 AI に頼るべきかについて表現するための言語活動を配した。(第3号) | pp.99-108 |
| Lesson 8 Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect SDGs | 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うことを念頭に置き、金継ぎや和紙の特長について理解し、自らが選んだ日本の伝統工芸品について、その特長を表現するための言語活動を配した。(第5号) | pp.109-119 |
| Lesson 9 Getting Your Message Across | 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを念頭に置き、人前で話す際の言いよどみについて肯定的および否定的な意見を理解し、言いよどみをすべて取り除くべきかについて自らの考えを表現するための言語活動を配した。(第2号) | pp.125-134 |
| Lesson 10 Medical Ethics During a Pandemic SDGs | 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを念頭に置き、感染症と医療倫理について理解し、パンデミックの際に有効性が確立されていない医療を試すべきかについて、自らの考えを表現するための言語活動を配した。(第3号) | pp.135-144 |
| Real Life English 1-4 | 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことを念頭に置き、日常的な話題について題材から必要な情報を捉え、話し手・書き手の意図を理解し、情報や考え、気持ちなどを表現するための言語活動を配した。(第1号) | pp.42-46, 68-72, 94-98, 120-124 |
| Reading Three Questions | 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことを念頭に置き、人生哲学に関する問答について物語を通じて理解し、読み取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりするための言語活動を配した。(第1号) | pp.145-151 |

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| 申請図書番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|------------|------------|------------------------------------|--------------|----|
| 104-75 | 高等学校 | 外国語 | 英語コミュニケーションⅢ | |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 212 桐原 | CⅢ720 | Heartening English Communication Ⅲ | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は主に以下の4つの内容から構成されている。

- ①Reading & Writing Strategy
- ②Lesson (10 課)
- ③Real Life English (4 課)
- ④Reading (1 課)

②Lesson では学習指導要領が定めるところの「社会的な話題」を中心に扱い、③Real Life English および④Reading では「日常的な話題」を中心に扱った。

①Reading & Writing Strategy

まとまった文章を読んだり書いたりする際に必須の方略を9つ掲載した。これらは複雑な概念や専門用語を伴うため、説明文や設問文は日本語表記を基本とし、生徒が取り組みやすいよう配慮した。

「1 パラグラフの構成」「2 エッセイの構成」

意見文の構成要素について文単位で解析することを意図し、アイコンを用いてわかりやすく説明した。パラグラフおよびエッセイを書く際には、1つの意見に対して2つだけ理由を挙げればよいことを示し、多くの生徒が現実的に取り組みやすいよう配慮した。その上で、100語程度のパラグラフにどのような要素を加筆すれば200語程度のエッセイが完成するか、具体例とともに説明した。

「3 表現の言い換え」「4 時間的順序」「5 例示・列挙」「6 原因・結果」「7 比較・対照」

文章を論理的に理解・表現するための方略について、説明の掲載は最小限にとどめ、設問を通じて生徒の思考を促し確実な理解につなげることを意図した。

「8 譲歩・打ち消し」「9 事実と意見の区別」

アサーティブネスに配慮したコミュニケーションをする上で、必要となる方略について扱った。

②Lesson

4 技能をそれぞれ高いレベルで身に付けさせるため、どの Lesson も技能ごとに分けて学べるように、以下の構成とした。

扉ページ

Scene 1: Listening

Scene 2: Reading

Scene 3: Speaking (Interaction/Production)

Scene 4: Writing

これは、学習指導要領の見出し順(聞くこと→読むこと→話すこと(やり取り)→話すこと(発表)→書くこと)と一致させており、言語習得における理想的な流れで学習に取り組めるようにしたものである。その上で Scene 1~4 が一連の活動としてつながるように、それぞれの Scene における状況設定を明示し、聞いたり読んだりした内容をもとに話したり書いたりできるよう、技能統合を促す教材設計となっている。

Listening と Reading の題材は相互補完的な関係となっており、それらの内容を統合することで複数の視点や多様な意見への気づきが得られるようにした。さらに一部の Lesson においては、Listening または Reading がダブル(トリプル)・パッセージとなっており、学習指導要領が定めるところの「複数のニュースや講演など」「複数の論証文や記録文など」に相当する。

▼構成

扉ページ

Get Ready

レッスンのテーマについて簡潔に導入することを意図した。

Objectives

すべての Lesson において、Scene 3 と 4 を最終タスクとして冒頭に掲げ、目的に応じた情報理解を促すことを意図した。技能(領域)ごとに達成すべき内容は、巻末の「CAN-DO List Tracker」に掲載した。

Scene 1: Listening QRコード(音声)対応、スクリプト・新語は Appendix に掲載

Pre-Listening

音声を聞く前に、状況設定や図表などを手がかりに話の内容を予測させる。リスニングの負荷を下げるとともに、音声を聞いた際に予測とのズレを認識することで気づきが得られるようにした。

Questions

音声を聞いた後に四択問題に答えさせる。Listening がダブル・パッセージで構成されている場合には、それらを統合して考えさせる問題も含めた。

Tip for Listening

音声を聞き取る際のポイントを掲載した。発音記号では伝わりづらい音のつながりなどを示すため、カタカナでの発音表記を取り入れ、生徒が直感的に理解できるよう配慮した。

Key Question for the Next Scenes

続く言語活動やレッスン最後(Scene 4: Writing)のテーマにつながる質問を用意し、ここを起点に自分の考えを積み上げさせる。Lesson 9 と 10 においては、意見に対する賛否の度合いを6段階で示せるようにし、学習指導要領が定めるところの「自分自身の立場を明らかに」した活動につながるよう意図した。

Scene 2: Reading QRコード(音声)対応、新語は Appendix に掲載

Pre-Reading

英文中の3つのキーワードを、その英英語義をもとに答えさせる。リーディングの負荷を下げるとともに、キーワードのニュアンスを正確に捉えさせることを意図した。

Reading Strategy

巻頭の「Reading & Writing Strategy」で学習した方略を使って読解を深めさせる。巻頭同様に指示文を日本語表記とし、生徒が取り組みやすいよう配慮した。

Questions

四択問題(8題)と短答式問題(2題)に答えさせる。パラグラフごとに要点や詳細を把握させる形式を基本とした。Reading がダブル(トリプル)・パッセージで構成されている場合には、それらを統合して考えさせる問題も含めた。

末尾には、通常の wpm(words per minute)に問題の正解率をかけ合わせ、実質的な wpm を算出するコーナーを設けた。算出した wpm は、巻末の「Reading Speed Tracker」にも記録させることを想定した。

Summarizing

文章中のキーワードを書いて要点を整理させたあと、それをもとに要約文を作成させる。このページの内容は、すぐ隣のページ(Scene 3: Speaking)の言語活動において活用することを想定し、見開きとなるようにした。

Scene 3: Speaking QRコード(音声)対応

Interaction

Listening/Reading の内容をもとに、示された流れに沿ってやり取りをさせる。単なるロールプレイとならないよう、せりふの一部は生徒が自由に考えられるようにしたが、流れを明示することで論理的に伝え合ったり会話を発展させたりする技法が自然と身につくようにした。

Production

やり取りした内容をもとに、与えられた状況設定を踏まえて発表をさせる。続く Scene 4: Writing と同様のテーマを設定しているため、ここで述べたアイデアを Writing に生かすことができる。

Scene 4: Writing

Speaking で得たアイデアをヒントに、レッスンを通じて考えるべきテーマについて、自分の考えなどを述べるパラグラフやエッセイを書かせる。プロセス・ライティングの考え方を取り入れ、5つの Step で無理なく取り組めるようにした。Mapping と Outlining については経験したことがない生徒も一定数いることを想定し、すべての Lesson において例を朱書した。生徒はこのページを参照しながら、パソコンやタブレットなどを用いて(または配布されるワークシートに書き込む形で)取り組むことを想定した。

③ Real Life English

上述の Lesson とは異なり特定のテーマは設けず「言語の使用場面」に着眼し、日常的な話題全般を扱った。

▼構成

Listening QRコード(音声)対応、スクリプト・新語は Appendix に掲載
短い対話、モノローグ、インタビューなどを聞き、四択問題に答えさせる。

Speaking

聞いた内容をもとに、やり取りや発表をさせる。

Reading QRコード(音声)対応、新語は Appendix に掲載
チャットやウェブサイトの記事などを読み、四択問題に答えさせる。

Writing

読んだ内容をもとに、自分の考えや意見を書かせる。

④ Reading QRコード(音声)対応、新語は Appendix に掲載

文学作品を通じて、想像力や他者への共感力を養うために、登場人物の心情を推論したり、自分の意見を述べたりする設問も用意した。

2. 対照表

「2 内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項」および「3 内容の取扱い」に関しては、図書全体が該当する。

| 図書の構成・内容 | 内容 | | 該当箇所 | 配当 時数 | |
|---|---|---|---------------------------------|------------|-----|
| | (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 | (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 ※アは全体を通じて扱う ②言語の働きに関する事項 | | | |
| Reading & Writing Strategy | | | | pp.8-20 | 3 |
| Lesson 1 What Makes Up Your Identity? | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.21-30 | 11 |
| Lesson 2 Predicting Future Technology | ア、イ、ウ | イ(イ)、ウ(イ)、 エ(イ)、オ(イ)、カ(イ) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.31-41 | 11 |
| Real Life English 1 短い発話の聞き取り／ウェブサイトやチャットの読み取り | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)(ウ)、 イ(ウ) | pp.42-46 | 4 |
| Lesson 3 The Science of Sleep | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.47-56 | 11 |
| Lesson 4 Diversity and Inclusion | ア、イ、ウ | イ(イ)、ウ(イ)、 エ(イ)、オ(イ)、カ(イ) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.57-67 | 11 |
| Real Life English 2 短い対話の聞き取り／SNS への投稿やレビューサイトの読み取り | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)(ウ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.68-72 | 4 |
| Lesson 5 Protein Crisis | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(イ)、 エ(イ)、オ(イ)、カ(イ) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.73-82 | 11 |
| Lesson 6 Different Types of Happiness | ア、イ、ウ | イ(イ)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.83-93 | 12 |
| Real Life English 3 モノローグや対話(インタビュー)の聞き取り／グラフ入りの記事の読み取り | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I) | pp.94-98 | 4 |
| Lesson 7 Pros and Cons of Utilizing AI | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(イ)、 エ(イ)、オ(イ)、カ(イ) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.99-108 | 12 |
| Lesson 8 Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.109-119 | 12 |
| Real Life English 4 モノローグや対話(インタビュー)の聞き取り／時系列で書かれた記事の読み取り | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ) | pp.120-124 | 4 |
| Lesson 9 Getting Your Message Across | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.125-134 | 12 |
| Lesson 10 Medical Ethics During a Pandemic | ア、イ、ウ | イ(イ)、ウ(イ)、 エ(イ)、オ(イ)、カ(イ) | ア(ア)(イ)、 イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.135-144 | 12 |
| Reading Three Questions | ア、イ、ウ | イ(ア)、ウ(ア)、 エ(ア)、オ(ア)、カ(ア) | イ(ウ)(I) | pp.145-151 | 5 |
| Column | | | イ(ア)(イ)(ウ)(I)(オ) | pp.152-157 | 1 |
| * Appendix(pp.158-191)の内容については上記該当の課に含めた。 | | | | | 140 |